

日本大学経済学部  
グローバル社会文化研究センター  
**学 術 講 演 会**

■ 講演テーマ ■

**「性の多様性」再考——家族・結婚・国家**

【講演者】

公益財団法人世界人権問題研究センター 専任研究員  
**堀 江 有 里 氏**

■ 講演概要 ■

2010年代以降、日本でも性的マイノリティの可視化や人権施策が進んできた。しかし、他方では国会議員などの差別発言も頻発し、偏見や排除の論理もより一層可視化しつつある。特に今年6月に可決された「LGBT理解増進法」をめぐっては、性的マイノリティの分断が助長される状況がみてとれることとなった。

「性の多様性」が認識されるように見えつつも、性的マイノリティが分断される状況にあるなか、存在の可視化はどのような範囲で行われているのだろうか。国家による「家族」政策の問題点から考えてみたい。

**日時:2023年12月14日(木) 18:00~19:30**

**開催場所:日本大学経済学部3号館6階3061教室**

**対象:教職員・学生 ※聴講は無料です。**

Center for Global Studies on Culture and Society  
College of Economics, Nihon University